

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)手術 なし 手術・処置等2なし	87	15.8	14.3	14.9%	74.6	－
100070xxxxxxxxx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	43	17.4	15.3	4.7%	65.6	－
150020xxxxx0xx	細菌性腸炎手術・処置等2なし	39	8.6	7.3	0.0%	51.1	－

《解説》

当科では、肺炎や気管支炎が最も多く、中でも誤嚥性肺炎は3割以上を占めており、高齢に伴う嚥下機能の低下で罹患される方が多くなっております。このような患者さんの中には、病状回復後も自立した生活が困難な方も居られ、転院や施設入所などになる場合も多いですが、地域の病院・施設と連携し患者さんに負担の少ない医療の提供を心掛けております。

次いで多いのが糖尿病です。食事療法や薬による治療、合併症の検査を行うとともに、それぞれの方に必要な糖尿病について知識を身につけて頂く事が出来ます。糖尿病コーディネーター(佐賀糖尿病療養指導士)を通じて近隣の医療機関とも連携し、地域ぐるみで治療を進めています。

その他には疾患が細分化されているため順位を下げておりますが悪性腫瘍も多く診療しております。

中でも肝・肝内胆管の悪性腫瘍が多く、慢性肝炎から肝硬変およびその合併症である食道静脈瘤、肝細胞癌について診断から治療まで医療機器を駆使し高度な診療を行っています。

手術の必要性がある場合は、外科と連携し治療を行っています。また、外来化学療法や緩和ケアにも対応しており、患者さんにとって最善の選択・治療が出来るよう心掛けています。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
050130xx99000x	心不全手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	12	20.4	18.3	8.3%	83.3	－
050070xx99000x	頻脈性不整脈手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし	7	4.1	7.3	0.0%	76.1	－
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)手術 なし 手術・処置等2なし	5	15.2	14.3	0.0%	87.0	－

《解説》

当科では心不全や虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、弁膜症、真菌症、不整脈などの心疾患や生活習慣病である高血圧や高脂血症などの診断と治療を行っています。

日本人の死因第2位循環器疾患であり、中でも虚血性心疾患は生活習慣病から進展することが多く、当科では早期診断を心掛けています。

多種の検査機器を使用し診断治療を行うと共に、早期リハビリや栄養管理・指導を行うことで、早期回復を目標としています。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上)手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	249	9.9	6.2	4.8%	0	-
040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳未満)手術・処置等2なし	186	5.8	5.7	0.0%	2.8	-
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満)手術なし 手術・処置等2なし	140	20.0	11.6	0.0%	0	-

《解説》

当院が総合周産期母子医療センターでもあることから、新生児の入院が多く、妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害が上位となっております。疾患が細分化されているため上記には現れておりませんが、1500g未満の新生児入院も39件となっており、佐賀県内の大多数の受け入れを行っております。

次いで小児(15才未満)の肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎の疾患となっており、呼吸器関連の疾患(喘息、上気道炎、インフルエンザ、ウイルス性肺炎、呼吸不全など)を合わせますと320件となっております。

当科では、未熟児新生児医療を中心とし、乳児期(発育、発達検診を含む)から学童期までの一般小児内科の診療を行っています。未熟児の集中管理やドクターズカーの運用による赤ちゃんと母体に優しい搬送の推進など、周産期医療の向上にチーム医療で取り組んでいます。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
090010xx99x40x	乳房の悪性腫瘍手術なし 手術・処置等2－4あり 副傷病なし	97	8.1	4.7	0.0%	61.1	－
060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	37	8.8	7.8	0.0%	56.3	－
060150xx03xx0x	虫垂炎虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等 副傷病なし	30	6.2	5.6	0.0%	32.9	－

《解説》

外科では当院の診療の二本柱のひとつ、がん診療に力を入れています。主に消化器癌(胃癌、大腸癌など)乳癌に対し手術療法のみならず、化学療法、放射線療法から緩和医療まで病状に応じた集学的治療を一貫して担当いたします。
また、急性腹症として緊急に手術が必要な場合にも、早急に対応し患者さんが早く社会復帰できるように合併症の少ない手術を心掛けております。
内科との連携により内視鏡治療から鏡視下手術まで適応に応じて低侵襲な治療も行っております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折人工骨頭挿入術 肩、股等	112	29.0	28.7	82.1%	83.8	－
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)手術なし 副傷病なし	50	25.0	21.5	64.0%	75.8	－
160760xx97xx0x	前腕の骨折手術あり 副傷病なし	34	7.8	5.7	0.0%	63.8	－

《解説》

当科は年々増加する大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折や骨粗鬆性脊椎骨折などの高齢者の救急外傷、その他交通外傷・労災外傷の受け入れを常日頃努力しております。

外傷の緊急手術や手術目的でご紹介頂いた患者さんに迅速に対応し、エビデンスに基づく(根拠に基づく医療)治療方針のもと、早期機能回復に努めています。患者さんごとの症例に応じて病院、又は診療所との連携を通じ、術後リハビリの役割分担を図りながらADL(人間の基本的な日常生活動作)の獲得、QOL(生活の質)の向上を目指しております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
120170xx99x0xx	早産、切迫早産手術なし 手術・処置等2なし	42	18.0	20.9	2.4%	29.1	－
120140xxxxxxxxxx	流産	15	1.9	2.3	6.7%	35.8	－
120165xx99xxxx	妊娠合併症等手術なし	10	20.4	12.2	0.0%	31.7	－

《解説》

当科は健康保険と自費の併用が多く、お産に係る入院などはDPC集計の対象から除外されるため、上記の結果となっております。
 自然分娩以外で、集計対象外の患者さんも含めて見ますと、最も多い疾患は胎児及び胎児付属物の異常で271件、次いで、早産、切迫早産が179件、妊娠高血圧症候群関連疾患が70件、妊娠中の糖尿病が35件の順となっております。
 上記集計には現れていませんが、当院の特性上、母体の合併症による妊娠高血圧症候群、双児妊娠、胎児発育遅延、胎児心臓病などの胎児異常例を多く診療しており、ハイリスク妊娠の方にも安心して妊娠分娩して頂ける診療体制を取っております。
 佐賀県内の多くの異常妊娠分娩を取り扱う総合周産期医療センターとして、母児共に安心してより安全なお産を提供することを目指しています。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし	26	4.7	4.4	0.0%	25.4	－
070010xx010x0x	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	22	9.0	6.1	0.0%	55.3	－
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)その他の手術あり 手術・処置等1なし	16	7.5	5.1	0.0%	50.2	－

《解説》

当科では顔面をはじめとして体表面の先天性あるいは後天性の形態および機能異常を、外科的手段で健常近くに修復を行う診療科です。

集計では皮膚・皮下腫瘍が最も多く、次いで眼瞼下垂症となっております。

当院の基本理念である「成育医療」と「がん」を診療の柱としており、先天性形態異常の治療、腫瘍切除後の組織修復(乳房再建を含む)などに重点を置いて治療を行っております。

乳房再建につきましては、自家組織再建、人工乳房(インプラント)いずれも当院では力を入れて取り組んでいます。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
11012xxx020x0x	上部尿路疾患経尿道的尿路結石除去術等 手術・処置等1なし 副傷病なし	58	6.3	5.9	0.0%	57.8	－
110070xx0200xx	膀胱腫瘍膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	33	8.8	7.6	0.0%	70.6	－
11012xxx040x0x	上部尿路疾患体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき) 手術・処置等1なし 副傷病なし	32	2.0	2.9	0.0%	51.5	－

《解説》

当科に入院される方で最多の疾患は腎結石・尿管結石などの尿路結石症です。痛みや発熱などの苦痛の治療を最優先とし、必要に応じ、内視鏡的手術(レーザー碎石)・体外衝撃波結石破砕術(ESWL)を多数行っています。2番目に多い疾患は膀胱癌で、主に内視鏡的手術を行っていますが、進行癌に対しては膀胱全摘出術・化学療法・放射線療法を組み合わせ癌撲滅に取り組んでいます。その他、前立腺癌の精密検査・手術・緩和医療目的、腎臓疾患に対する低侵襲腹腔鏡手術目的、前立腺肥大症に対する手術目的の患者さんが多く入院されています。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

■皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし	47	4.2	4.4	0.0%	56.7	-
080020xxxxxxxx	带状疱疹	17	11.1	9.0	5.9%	73.2	-
080011xx99xxxx	急性膿皮症手術なし	17	12.5	12.0	0.0%	60.6	-

《解説》

当科では、手術目的の入院を中心に、带状疱疹といったウイルス感染症、蜂窩織炎や丹毒などの皮膚感染症の患者さんが多く入院されます。带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスの感染で、免疫力が低下した際に発症します。神経の支配領域に沿って、左右どちらかに発症しますが、稀に汎発疹といって神経支配領域以外の部位にも皮疹が出現することがあり、個室での管理が必要となります。早期治療が十分でないと、神経痛が残る場合もあり、皮疹が重症で痛みが強い場合は入院治療をおすすめしています。蜂窩織炎や丹毒などの感染症は、いずれも外来治療では治療効果不十分な重症例を入院治療しております。また、重症薬疹などの治療も入院で行っており、皮膚癌の早期発見および治療にも力を入れております。